



第四十三筆

いつも心に太陽を

母が好きだった言葉であり、母からもらった言葉ですね。洋画の邦題だったんですが、映画がよかったとかそういうことでなく、タイトルが母の心に残ったようです。気づいたら、小さい時から私の中にもこの言葉が頭の中にもありました。つらいとき、嫌なことがあったとき、試合に負けたとき、この言葉を思い出すことでずっと乗り越えてこれたと思います。いまでも大切にしている言葉ですね。

武田双龍

心の内に、消えることのない温もりを感じました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>

書道家
武田双龍

山本美憂

先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉

×